

全国エリアマネジメントネットワーク

第 8 回通常総会

(第 8 期：2023 年 7 月 1 日～2024 年 6 月 30 日)

日時：2023 年 9 月 4 日

13 時 00 分～14 時 00 分

場所：警固神社社務所ビル（福岡）

ZOOM ウェビナー

総会 次第

1. 開会

2. 定足数確認

3. 決議事項

- 1) 第 1 号議案 第 7 期事業報告について
- 2) 第 2 号議案 第 8 期事業計画について

4. その他

- ・全国エリマネ若手実務者会議 AMU35 の活動について

5. 閉会

<添付書類>

- 第 7 期事業報告
- 第 8 期事業計画

全国エリアマネジメントネットワーク
第 7 期事業報告書
(2022 年 7 月 1 日～2023 年 6 月 30 日)

(1) 活動の総括

第 7 期の活動は、近年の活動の主軸にしている実務者によるディスカッションを中心に進めていき、研究会・コミュニティ活動として新たに「ナイトタイムエコノミー研究会」が立ち上がり、既存の 2 つの研究会と合わせ、エリアマネジメントに関する新たなテーマについての議論の充実化を進めている。

2 回実施したエリマネウェビナーでは、エリアマネジメントにおける社会的課題への対応や SIB 等の新たな財源の可能性について行ったアンケート調査の結果や大阪で始まった「地域再生エリアマネジメント負担金制度」の紹介を行うなど、より実務面のヒントになるような企画を実施した。

また、エリアマネジメント研究交流会は第 3 回目を開催し、今年は大幅な発表数の増加があった。また、初めて対面での開催となり、研究者や実践者の交流の場ともなった。

人材育成のプログラムでは、プレイスメイキング講座を大丸有地区を会場にリアルで開催し、多くの方々が 2 日間に渡ってプレイスメイキングに関する学びと議論を行った。また、第 5 期に立ち上げた若手ネットワーク (AMU35) も継続的に開催されている。このような若手実務者のディスカッションの機会を充実させたことによって、エリアマネジメントを担う人材の育成、幅を広げることに寄与したと考える。

しかしながら当初計画していたより包括的な人材育成プログラムの実施に至らなかった点とアンケート等のリサーチ関係も今年度着手できなかったことから、この点は反省点として第 8 期にしっかりと引き継ぐこととする。

海外連携については、今期においても具体的な活動は出来なかったが、海外の連携組織とは継続的に連絡を取り合い、状況把握には努めている。

会員数は正会員 115 名から第 7 期終了時点で 118 名と微増となっている。

(2) 会員の状況

種別		第 6 期会員数 (2022.6.30 時点)	第 7 期会員数 (2023.6.30 時点)	増加数
正 会 員	エリアマネジメント団体 (企業会員中心)	4	4	0
	エリアマネジメント団体 (地域中心)	44	46	2
	法人	20	19	-1
	個人	47	49	2
正会員小計		115	118	3
一般賛助会員		18	18	0
オブザーバー		27	29	2
合計		160	165	5

(3) 総会

年次総会を以下のとおり開催した。

日時	2022年9月8日(木) 13時30分~14時30分
場所	ZOOMミーティングルーム
参加者数	74名
議決承認事項	第1号議案 規約の改定について 第2号議案 第6期事業報告について 第3号議案 第7期事業計画について 第4号議案 役員改選について
その他	全国エリマネ若手実務者会議活動報告

(4) 幹事会

幹事会構成は幹事12名(内、会長1名、副会長3名)及び監査役2名である。

第7期の幹事会開催は3回行った。(対面とオンラインのハイブリッド開催)

(5) 個別事業活動

①情報交換・連携【交わる】

①-1: ネットワーキングセッション

会員間の情報交換や課題共有、アイデア交換のためのセッションを以下のとおり開催した。

a: 全国エリマネ×国交省

<官民連携まちづくり Day: 経済とまちづくり>

日時	2023年1月30日(月) 14時00分~17時00分
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	500名

※国土交通省都市局まちづくり推進課と合同開催

①-2: エリアマネジメントに関する情報発信(メール及びSNS)

メールニュース	42回配信
---------	-------

②パブリックレレーション【広める】

②-1: エリアマネジメントシンポジウム

エリアマネジメントについて、広く一般に普及することを目的に、各地のエリアマネジメント活動を紹介し、意見交換するシンポジウムを以下のとおり開催した。本シンポジウムは京都大学経営管理大学院と連携し開催した。

全国エリアマネジメントネットワークシンポジウム2022

<都市にダイバーシティ&インクルージョンを~ナイトタイムエコノミーとエリアマネジメント~>

日時	2022年9月8日(木) 15時00分~18時10分
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	160名(シンポジウムのみ集計/登壇・事務局関係者含む) 内訳⇒ 会場_55/オンライン_会員:78、オンライン_一般:27

②-2：渋谷エリアマネジメント開催のイベント協力

渋谷エリアマネジメントの10周年を記念したトークセッションにあたって、企画協力を行い、テーマに即した全国エリマネ会員の登壇をコーディネートした。

渋谷駅前エリアマネジメント協議会設立10周年記念トークセッション

「+FUN SESSION SHIBUYA ～What is “渋谷らしいまちづくり”？～」

日時	2023年5月31日（火）
場所	渋谷駅東口地下広場イベントスペース
登壇者	渋谷駅前エリアマネジメント協議会、札幌駅前通まちづくり会社、大丸有エリアマネジメント協会

③エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

③-1：エリマネコミュニティ（研究会）

会員の自発的なテーマ設定等による活動展開を行う研究会として、以下3つの研究会を立ち上げ活動を開始した。

＜スマートシティ・DX研究会＞

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有まちづくり協議会、竹芝エリアマネジメント、渋谷エリアマネジメント、We Love 天神協議会、三井不動産株式会社、国交省都市局
活動経緯	4回開催

＜グリーン×エリアマネジメント研究会＞

参加団体	日本橋浜町エリアマネジメント、大丸有まちづくり協議会、錦二丁目まちづくり協議会、森ビル株式会社、福岡孝則
活動経緯	5回開催

＜ナイトタイムエコノミー研究会＞

参加団体	札幌駅前通まちづくり株式会社、大丸有エリアマネジメント協会、渋谷駅前エリアマネジメント、まちづくり福井株式会社、ミナまち育てネットワーク、博多まちづくり推進協議会、We Love 天神協議会、森ビル、齋藤貴弘
活動経緯	4回開催

※いずれの研究会も継続し議論内容を公開予定。

③-2：エリマネウェビナー

各地のエリアマネジメントの動き等を紹介するセミナーとして4回開催した。

＜第8回：ランチタイムラーニング＞

日時	2023年1月18日（水）12時～13時30分
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	42名（別途、登壇者3名、事務局2名）

内容	全国エリマネ定点アンケート『エリアマネジメントアンケート R4』結果報告
----	--------------------------------------

<第9回：ランチタイムラーニング>

日時	2023年6月21日（水）16時30分～18時
場所	ZOOM ウェビナー
参加者数	60名（別途、登壇者3名、事務局2名）
内容	『地域再生エリアマネジメント負担金制度』を考える

③—3：エリアマネジメント研究交流会

エリアマネジメントに関する研究や実践を報告し研究者と実務者の対話、交流する場を開催。UDC イニシアチブと実行委員会を組成し開催。第3回は21本の発表があり、シティラボ東京に2会場作り、発表者と司会は会場に集まり、発表、配信を行った。5つのアワードを選出し記念品を贈呈。

日時	2023年7月1日（土）13時～18時
場所	シティラボ東京 + Zoom ウェビナー
参加者数	134名（内、発表者：21名/発表者関係者：10名/Web視聴：89名/実行委員：9名/事務局：5名）

④人材育成【支える】

④—1：エリマネ講習会

プレイスメイキングに関する講習会を3名の専門家を講師に開催した。

日時	2023年6月8日（木）～6月9日（金）
場所	DMO 東京丸の内
講師	園田聡氏、鈴木美央氏、上田孝明氏
参加者数	27名（内、参加者：22名/講師：3名/事務局：2名）

④—2：全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

<メンバーミーティング vol.5/話題提供：広島駅周辺地区まちづくり協議会、カミハチキテル-HEART OF HIROSHIMA->

日時	2022年10月31日
場所	ZOOM ミーティングルーム

<メンバーミーティング vol.6/話題提供：We Love 天神協議会>

日時	2023年2月15日
場所	ZOOM ミーティングルーム

<メンバーミーティング vol.7/話題提供：まちづくり福井>

日時	2023年5月30日
場所	ZOOM ミーティングルーム

〈メンバーミーティング vol.8/話題提供：高輪ゲートウェイ〉

日時	2023年7月11日
場所	ZOOM ミーティングルーム

〈AMU35 フィールドワーク vol.2〉

日時	2023年7月24日（月）～7月25日（火）
場所	視察先：大阪梅田、なんば、御堂筋、中之島／神戸東遊園地、三宮、
参加者数	33名

※年度を超えて開催した事業（本年7月開催事業）について、これらは年度内に企画、検討を行い、第6期事業として実施したものである。日程調整の結果、実施日が超えてしまったが、第6期事業として計上した。

全国エリアマネジメントネットワーク
第8期事業計画・予算
(2023年7月1日～2024年6月30日)

1. ネットワークの活動方針

○エリアマネジメント組織のネットワーク・コミュニティの醸成【交わる】

全国のエリアマネジメント組織の交流の場を提供することによって、エリアマネジメントに係る人々のコミュニティを醸成すると共に、交わることによる学びあいを進め、今後のエリアマネジメント活動の活性化を支える。

○エリアマネジメント活動の深化・行政との対話・連携の場の構築【深める】

エリアマネジメント活動の更なる深化をさせていくために、調査研究活動を行うと共に、行政との対話の場を設け、各種活動を進めるにあたって必要となる官民連携を促進させる。

○エリアマネジメントの社会的な認知向上【広める】

エリアマネジメントと言う活動やそれを担う組織・人々を社会に発信し、その活動の意義や効果について、認識を高めて頂く活動を進める。

○エリアマネジメントに関する人材育成【支える】

エリアマネジメント活動の展開を図っていくためのノウハウの蓄積やエリアマネジメントを担う人材像の整理等を行い、活動に必要な人材育成につながる活動を進める。

2. 第8期の主な活動内容

【エリアマネジメントの領域展開と実務能力向上に向けて】

○今後の社会・都市におけるエリアマネジメントの役割の再考と発信

ワーク・ライフスタイルの変化が今後の都市、地域にどのような影響を与えるのか、その際エリアマネジメントはどのような役割があるのか、何をすべきなのかについて、サロンや幹事会、研究会等の場で議論し、そういった変化に対してエリアマネジメント組織はどう対応していくことが望ましいかについて、ウェビナー等を通じて議論をし、発信していく活動を行う。

○研究会・コミュニティ活動の推進を通じたエリアマネジメントの実務者育成

スマートシティやグリーンインフラ、ナイトタイムエコノミー等、エリアマネジメントが今後取り組んでいくべき活動について研究会等において議論を進めている。また、AMU35の活動も充実してきている。このような各種活動に会員組織の実務者が積極的に参加して頂くことを通じてエリアマネジメントの実務者育成、更なるネットワーク構築を進めていく。

○中間支援組織としてのネットワークのあり方の検討

本ネットワークはこれまで、各地のエリアマネジメント組織をつなぐ役割を担ってきているが、より積極的にエリアマネジメント組織への支援を担う中間支援組織として機能していくことに対するニーズも高まってきており、中間支援組織としてどう本ネットワークをバージョンアップしていくべきかについて整理を進める。

○エリアマネジメントに関するリサーチ・行政との対話の充実

エリアマネジメントの組織やその活動の充実、発展のためには、それらの現状把握や意味、課題等を掘り下げていくことが重要となる。そして、それらを一般化、理論化していきながら、各地のエリアマネジメント組織へフィードバックしていくことが重要となる。そこで、全国エリマネとして研究関連の取組みを充実していくと共に、研究者の育成も進める。

そのような活動を通じて国や地方自治体との対話の機会を積極的に作り、エリアマネジメントの活動の基盤づくりを推進する。

○海外情報の収集やアジア都市との連携活動の展開（エリアマネジメントの海外への展開）

アメリカの IDA（International Downtown Association）との連携を引き続き推進し、海外の様々な国で展開されている BID 等（イングランド ATCM : Association of Town and City Management 等）の情報を収集するとともに、シンガポール（URA : Urban Redevelopment Authority）や韓国を中心としたアジアとの連携を強化し、共同でのシンポジウム開催等を検討する。

3. 事業内容

①情報交換・連携【交わる】

<ネットワーク会員間の情報交換・議論>

- 官民連携まちづくり DAY※国交省都市局との連携による開催
- ニュースレター発行

<海外連携>

- IDA との連携強化に向けた対話
→IDA の総会への参加を通じて、改めて連携の具体化についての議論を進める
- アジアのエリアマネジメントネットワーク活動
→情報共有・発信（Asian Place Management Report）、人材育成、学びの場の検討
- 海外向け情報発信の検討・コンテンツ作成等
→英語版の日本のエリマネ紹介コンテンツの作成

②パブリックリレーション【広める】

- シンポジウム開催（1 回）
→9 月に総会と合わせ開催
- 広報の充実
→イベントレポートの作成と配信等、英語版 WEB 対応等

③エリアマネジメント活動の新たな展開の議論【深める】

- エリマネコミュニティ（研究会）
→エリマネに関する特定の関心領域について、エリマネ組織の実務者によるコミュニティを組織し、議論、活動を行う。有志によって立ち上げ、有志メンバーによる自立的な運営とし、活動支援金を拠出する
→「スマートシティ・DX 研究会」、「グリーン×エリアマネジメント研究会」、「ナイトタイムエコノミー研究会」は継続的に活動。今期は地方都市のエリアマネジメントコミュニティの立ち上げを目指す。
→また、研究会での議論の公開、普及活動も関係団体等と連携しながら進めていく。

※エリマネコミュニティ（研究会）は基本的には、2カ年の活動期間で運営。「スマートシティ・DX 研究会」、
「グリーン×エリアマネジメント研究会」は2年目、「ナイトタイムエコノミー研究会」は1年目。

○エリマネ Webinar

→オンラインによって、エリアマネジメント活動に資するインプットを得る場を開催。各地のエリアマネジメントの
取組みの他、エリアマネジメント活動を取り巻く社会経済の状況など、多角的に学べるプログラムを検討

→各地のエリマネの取組みを学ぶ通常のWebinarの他、各地のエリマネ事務局の日々の取組みや悩みを
共有する事務局トーク、エリマネを支える様々な技術やサービスの動向を学ぶランチタイムラーニングといっ
た関心領域の異なる複数のプログラムを展開

○エリマネサロン

→リアルな場でエリアマネジメントの実務者と行政が今後のエリアマネジメントについて議論する場を開催

○エリアマネジメント研究交流会

→エリアマネジメントに関する研究や実践内容を報告する交流会の実施と、発表内容を梗概集として発信
(UDC イニシアチブと実行委員会を組成)

④エリマネ関連リサーチ【深める】

○リサーチチームの組成

→エリアマネジメント関連のリサーチを進めていくためのチームを立ち上げ、全国エリマネで行うリサーチ事業を
実施、監修する。テーマについてはリサーチチームで議論した上で、幹事会で調整し実施する事とする

○エリアマネジメントアンケート

→エリアマネジメント組織とその活動の実態を把握する定点調査を実施。その他、特定のテーマを設定した
追加アンケートも実施。特定テーマについては、研究者に共同研究の募集をした上で、リサーチチームで
議論の上確定させる

⑤ノウハウ蓄積・人材育成【支える】

○全国エリマネ若手実務者会議「AMU35」

→エリマネ組織の若手実務者の情報共有や学びの場としての活動を展開

○エリマネ講習会

→広報 PR、行政手続き対応、プレイスメイキングなどエリアマネジメントに必要なノウハウを学ぶ場を開催

○エリアマネジメントを支える人材育成プログラムの検討と人材育成事業

→幹事会メンバーを中心に実行委員会を立ち上げ、企画検討、育成事業パイロット版を実施

⑥組織運営

○次期体制等検討ワーキング

→これまでの活動を踏まえた、中間支援組織としての今後の全国エリマネのあり方及び事務局体制や活動
の在り方について検討。タスクフォースを作り、議論を進める。(組織体制／新たな活動検討(会員メリ
ット)／海外連携)

○幹事会運営

→幹事会での議論の活発化や幹事の役割分担を明確にして各種事業推進を図る。

(2) 部会活動

部会は会員の発意で、参加者負担によって体制を作り、活動するもの。引き続き会員の発議を募集する。